

## 節分寒波で積雪40cm マイナス7度 連日の雪かきに悲鳴



▲雪景色の松枝・三ノ谷町内

長引く節分寒波で2月8日朝、伊野地区は積雪40cm、最低気温マイナス7度を記録。斐川町ではマイナス12.5度。宍道湖沿岸の湖面も薄氷におおわれた。

7日夕から8日未明にかけて国道9号や山陰道などは大渋滞。伊野地区でも、土木委員会(岩成秀幸委員長)が除雪の手配に追われた。除雪の対象とならない生活道路は、近隣住民が未明から雪かきをして通勤を確保したが、高齢独居世帯が増えるにつれ、雪かき作業もままならなくことが心配される。民生児童委員会(山崎敏美会長)は、高齢独居世帯の雪かき支援について情報交換を行った。雪害について備えを強化する必要がある。